

日時：
平成29年10月6日(金)
10:00～17:00

会場：
赤坂インターシティコンファレンス
4F [the AIR]

主催：
● 日本医療研究開発機構 医療技術実用化総合促進事業
「国立がん研究センター東病院 臨床研究中核病院整備事業」

協力：
● 日本医療研究開発機構 医薬品等規制調和・評価研究事業
「効率的な治験の実施に資するGCPの運用等に関する研究」

後援：
● 抗悪性腫瘍薬開発フォーラム

協賛：
● 日本医療研究開発機構 (AMED)

第7回
がん新薬開発合同シンポジウム

アカデミアと オープンイノベーション

シーズ開発は どうあるべきか

● 開会の言葉

国立がん研究センター東病院 大津 敦

● シーズ開発における産官学連携

● 医療のイノベーションを担う
ベンチャー企業の振興について
厚生労働省 飯村 康夫

● 医療研究開発革新基盤創成事業
(CiCLE) について
日本医療研究開発機構 林 直治

● 武田薬品工業における
オープンイノベーションの創薬研究活用
武田薬品工業株式会社 蓮岡 淳

● ヘルスケア・イノベーションの
鍵を握るエコシステム
Johnson & Johnson INNOVATION 鶴飼 太郎

● 国立がんセンター東病院における
早期シーズ開発体制整備
国立がん研究センター東病院 土井 俊彦

● 筑波大学における
橋渡し研究の出口戦略と人材育成
筑波大学 荒川 義弘

● 新たな規制との調和をめざして

● 治験・臨床研究に係る国内外の動向
厚生労働省 井本 昌克

● 個人情報保護の新潮流
株式会社日立製作所/
個人遺伝情報取扱協議会 佐藤 恵一

● 新薬承認申請等への
疾患レジストリの活用に向けた規制の展開
医薬品医療機器総合機構 鹿野 真弓

● スタートアップによるイノベーション創出の実現

● 光免疫療法の開発：
米国ベンチャー企業の足跡と
日本のイノベーション創出への学び
アスピリアンジャパン株式会社 虎石 貴

● キャンバスは、何故、米国治験を選択したのか
株式会社キャンバス 河邊 拓己

● 新規抗体のFIH目指して：柏から世界へ
株式会社凜研究所/
国立がん研究センター先端医療開発センター 松村 保広

● 閉会の言葉
浜松医科大学/国立国際医療研究センター 渡邊 裕司

お問い合わせ：

がん新薬開発合同シンポジウム 事務局

souki-symposium@east.ncc.go.jp

参加申し込み：

抗悪性腫瘍薬開発フォーラム

ホームページにて8月中旬より受付

<http://atdd-frm.umin.jp/>

● 定員になり次第、締め切りとさせていただきます。